令和６年度　＜人権教育にかかわる年間指導計画＞

３　年

【基本的な考え方】
各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関する内容と体験的な学習活動を相互に関連付け、自他の生命を尊重する心情・態度の育成を重視した。

⇨

【年間指導計画作成のための方針】
必修教科において、社会科を中心として学習した内容を基礎とした人権に関する課題学習や自由研究的な学習、発展的な学習に取り組めるようにする。・夏季休業期間を利用して、各教科、道徳、総合的な学習の時間などの指導と関連を図った体験的な学習を行う。
・生命を尊重する心情と態度を育成するために、道徳の授業と他の教科との関連を図る。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。	生徒理解を深め、新しい学級生活への適応を図り、望ましい人間関係を築く。ガイダンス機能の充実を図る。										
各教科 読書科			社会科（公民） 基本的人権を中心に、人権についての正しい理解と認識を深めるとともに、人間の尊重についての考え方を深める。				国語科：弁論大会用の原稿を作成していく中で、人権について考える。	英語科：黒人の大リーガーの生涯を通して人権問題について考える。		保健体育科 感染症についての正しい理解を深め、病気に対する偏見や差別をなくす。生命の誕生について学び、人間尊重の態度を育てる。		
特別の教科 道　徳	人間としてよりよく生きるため理想の自己を目指し、前向きに歩み続ける実践意欲を培う。	相手の立場や考え方を尊重し、謙虚な広い心で他に学ぼうとする態度を育成する。	真の友情を理解し、信頼と敬愛に支えられた友人関係を築こうとする態度を育成する。	内なる弱さや醜さと闘い、生きる希望や喜びを見いだそうとする信条を育む。		いじめの愚かさを知り、差別、偏見を憎み、不正な言動を許さない態度を育成する	思いやりの根底にある人間への深い理解と共感を認識し、人間愛に満ちた信条を育てる。	異性についての正しい理解を深め、良さを認めながら互いに高め合おうとする態度を育てる。	生命の尊さを深く自覚し、自他の生命を尊重する態度を育成する。	所属する集団の一員として、責任を果たそうとする態度を育成する。	絶えず高い理想を求め、自己の人生を豊かにしようとする意欲を培う。	自己理解を深め、自身のよさをのばし、充実した生き方を追求しようとする態度を育成する。
特別活動	学級活動： 人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。			進路相談				進路相談	生徒会活動： ユニセフ募金活動への参加 進路相談、 面接練習	卒業式の練習や、地域清掃を通して「人権について」の学習をする。		
学校行事 保護者、地域との連携	保護者会： 学校の人権教育の目標や方針について説明する。	運動会練習 四中ソーラン 愛校心を高めるとともに団結力を養う。	運動会： 学校のリーダーとしての自覚を持たせる。			修学旅行 集団行動を通して責任感や協調性を養う。	文化祭： 自他の文化を尊重する精神を育てる。		面接練習 正しい職業観や勤労意欲を育成する。			卒業式： 地域や保護者と共に、人生の節目を祝す。
保護者・地域との連携			＜学校公開＞ 人権教育について説明									